

00990096AA

Claims 1 – 20

Publications

1. Published Japanese translation of PCT International Publications for Patent Application Publication H9-504144
2. Japanese Unexamined Patent Application Publication H7-46659
3. International Publication No. 03/50976
(Patent Family: Published Japanese translation of PCT International Publications for Patent Application Publication 2005-512451)

Remarks

Claims 1 – 20: Citations 1 – 3

In Citation 1 reference is made to the fact that, in order to solve a problem where it takes time to determine timing advance information (equivalent to the timing precedence value of the present application) when there is a handover, a handover instruction (equivalent to the handover command of the present application) is sent by including a new timing advance value received from the base station control device (reference Lines 21 – 23 of Page 15, Lines 17 – 21 of Page 19 and Line 19 of Page 25 – Line 3 of Page 26).

In Citation 2 reference is made to the fact that a propagation delay time (equivalent to the timing precedence value of the present invention) is computed based upon positional information (see Claims 3 – 4).

Performing the handover of a terminal between different wireless access technologies (see, for example, Paragraphs 0049 – 0051 of the family literature of Citation 3 if necessary) would be publicly-known technology to one of ordinary skill in the art pertaining to the present invention .

Therefore, configuring the invention relating to the claims mentioned above to compute the timing advance information in Citation 1 based upon the positional information by applying Citation 2 to Citation 1; and concurrently, configuring the invention to adopt the configuration above to the handover of the terminal between the publicly-known different wireless access technologies could have easily been invented by one of ordinary skill in the art pertaining to the present invention .

Record of the results of searching the priority publications list

Searched categories: IPC H04W 4/00-99/00

Priority publications: Patent Table 2005-521350

The record of the results of searching the priority publications list does not constitute the reasons for rejection.

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2006-550590
起案日 平成21年 4月 3日
特許庁審査官 ▲高▼橋 真之 2947 5J00
特許出願人代理人 池田 憲保(外 2名) 様
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由**-----理由1-----**

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

・請求項 1-20

・刊行物等

1. 特表平9-504144号公報

2. 特開平7-46659号公報

3. 国際公開第03/50976号

(パテントファミリ: 特表2005-512451号公報)

備 考

【請求項1-20】: 引用例1-3

引用例1には、ハンドオーバーの際に、タイミング・アドバンス情報(本願のタイミング先行値に相当)の決定に時間がかかる課題を解決するために、ハンドオーバー指令(本願のハンドオーバーコマンドに相当)に、基地局制御装置から受信した新しいタイミング・アドバンス値を含めて送信することが記載されている(第

15頁第21-23行、第19頁第17-21行、第25頁第19行-第26頁第3行参照)。

引用例2には、伝搬遅延時間(本願のタイミング先行値に相当)を位置情報に基づいて演算することが記載されている(請求項3-4参照)。

そして、異なる無線アクセス技術の間で端末のハンドオーバーを行うことは、当業者における周知技術である(必要ならば、例えば引用例3のファミリー文献の段落0049-0051参照)。

したがって、引用例1に引用例2を適用し、引用例1におけるタイミング・アドバンス情報を、位置情報に基づいて演算するよう構成するとともに、当該構成を周知の異なる無線アクセス技術の間で端末のハンドオーバーに採用して本願の上記請求項にかかる発明を構成することは、当業者が容易に想到し得ることである。

。

-----理由2-----

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

【請求項1、2、10、11】

請求項1の「第1の無線アクセス技術から第2の無線アクセス技術へのハンドオーバー」なる記載について、「～技術から～技術へのハンドオーバー」なる記載は不明瞭である。(段落0003を参照すると、「～ネットワークから～ネットワークへのハンドオーバー」の意味と解される。)

他の「無線アクセス技術」なる記載についても同様である。

【請求項9、18】

多数項引用形式で請求項を記載しているが、他の二以上の請求項を択一的に引用していないため、請求項の記載が不明瞭である。(択一的に引用されたい。)

【請求項19、20】

請求項の記載が、図面の記載で代用されている結果、発明の範囲が不明確である。

整理番号: 発送番号:223143 発送日:平成21年 4月 8日 3/E

・調査した分野 I P C H 0 4 W 4 / 0 0 - 9 9 / 0 0

・先行技術文献 特表 2 0 0 5 - 5 2 1 3 5 0 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません

。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡ください。

特許審査第四部 伝送システム 高橋 真之

TEL. 03-3581-1101 内線3534

FAX. 03-3501-0699